



BAULKHAM HILLS HIGH SCHOOL



7月31日から8月7日までの8日間、オーストラリアのボーカムヒルズ高校（シドニー近郊）で20人の生徒が英語の授業やホームステイを体験しました。この海外派遣を通じて、たくさん  
のことを学び、感じた生徒達の感想をお伝えします。問い合わせ／学校支援課指導担当（内線536）

## 海外派遣の感想

派遣団長 大島 進

（学校教育課学務課副参事）

「雨のち虹のち晴れ」シドニー郊外にあるボーカムヒルズ高校を訪れた時には雨が落ちていました。高校での4日間のレッスンで、派遣生は異文化理解や語学の習得に大変積極的に取り組むことができていました。教室には昨年派遣された生徒の書道の作品が展示されていました。図書室にもひな人形や羽子板などが展示され、長年続いている鴻巣市との交流をととても大切にいただいている様子が数多く見られました。

雨ばかりのシドニーでしたが、週の後半には、派遣生徒の頑張りや称賛するかのよう虹が見られ、最終日のブルーマウンテンズ国立公園では晴天のもと活動することができました。

今年度の派遣生も後輩達にしっかりとバトンをつなげる立派な活動ができました。

最後に、これまで海外派遣にご理解とご協力をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。

佐藤 倫（鴻巣中学校）

私はホームステイや現地の学校でたくさんの人と交流し、オーストラリアで充実した一週間を過ごすことができました。この経験を必ず将来にいかしていきたいと思えます。

矢澤 徹也（鴻巣中学校）

海外派遣は、僕にとって、貴重で忘れられない思い出となりました。現地で見えたものや出会った人達、仲間達は、これからの生活の中で大切なものになると思えます。

古畑 梨生（鴻巣中学校）

ホストファミリーや高校の皆さんとのさまざまな出会いを通じ、国や文化は違っても人を思いやる心は同じなのだと感じました。体験させて頂いたことに感謝し、将来の糧としたいです。

長島 結衣（鴻巣北中学校）

私にとって、この海外派遣は最高の思い出となりました。オーストラリアで出会った人や感じた文化を忘れず、英語力を将来へといかに活かせるよう頑張りたいです。



フェアウェルパーティーで力強くソーラン節を披露



磯部 美月（鴻巣北中学校）

海外に行くことで、日本の技術力や文化のよさ、学校教育の素晴らしさに改めて気付くことができました。今後も日本の誇りである礼儀やマナーを大切にしていこうと思います。

武田 幸恵（鴻巣西中学校）

海外派遣の日々は、何もかもが新鮮で、驚きに溢れていました。多くの方の支えで得た、この経験をこれからの生活にいかして頑張ります。ありがとうございます。

塚田 大翔（鴻巣西中学校）

初めての海外体験で全てがとても不安でしたが、ホストファミリーやポーカムヒルズ高校の皆さんのおかげで、オーストラリアでの一週間は僕の大切な宝物になりました。



ジョー先生による英語の授業

豊島由梨奈（鴻巣西中学校）

現地の方々が本当に優しくしてくれて、楽しく充実した1週間でした。英語も上達し、現地の友達もたくさんできて、すごく貴重な体験ができました。ありがとうございます。

桐敷萌々子（鴻巣南中学校）

この海外派遣では、今まで経験したことのない貴重な体験を実際に目で見て、肌で感じる事ができました。将来も色々な国へ行き、自分なりの見聞を広げていきたいです。

越石 寛大（鴻巣南中学校）

僕はこの海外派遣で、言葉は通じなくても必ず心は通じるという事を学びました。また、このような体験をさせてくださった先生や家族をはじめ、多くの方々に感謝したいです。

堀 壮介（赤見台中学校）

多くの事を学んだ、感動と発見の8日間でした。友情、優しさに国境はないのだと実感しました。海外派遣での経験を誇りに思い、これからの人生にいかしていきたいです。

岩谷 勇希（赤見台中学校）

最初は英語が通じるか不安でしたが、バディや現地の生徒は僕と前から友達だったかのように気軽に接してくれました。今回の海外派遣で関わった全ての方々に感謝したいです。

川田 琉偉（赤見台中学校）

僕は今回の海外派遣を通して、外国の文化、人との交流はとても大切

だと知ることができました。だから、これからは積極的に外国の文化について調べていきたいと思いました。

奥野 亜未（赤見台中学校）

この海外派遣を通して、私は日本以外の文化を学んだり、オーストラリアの自然に触れたり貴重な経験をさせていただきました。この経験を将来にいかしていきたいです。

水谷 知生（吹上中学校）

私は海外派遣を通して、オーストラリアの人と英語で会話をし、意識疎通をとることが目標でした。すべてを達成したとは言えませんが、最初の一步を踏み出せたと思います。

平林 陽彩（吹上中学校）

私の夢は日本の文化を海外へ伝える事です。この海外派遣を通して、その夢の第一歩を踏み出し、少し夢を叶えることができました。今回の経験は私にとって一生の宝物です。

小河原 統（吹上中学校）

私は今回の体験で海外の人と英語で話す楽しさを学びました。ホストファミリーとの交流では、彼らの優しさを肌で感じました。今回の貴重な体験を将来にいかしていきたいです。

平田 吉晟（吹上北中学校）

オーストラリアではとても貴重な経験をしました。たとえ単語しか分からなかったとしても、会話をすることで仲良くなる事ができ、ホストバディと一生の友達になりました。

矢澤 恵（川里中学校）

見たもの、聞いたもの、感じたもの、全てが私の視野を広げる糧となりました。海外派遣で得たものは、語学力だけではなくありません。貴重な経験をありがとうございます。

榎田 夢（川里中学校）

私はこの海外派遣で、会話の楽しさを知ることができました。英語で話すことが慣れていないからこそ、伝わったときの感動は思っていたよりもはるかに大きかったです。

### 「鴻巣市子ども教育ゆめ基金」にご協力ください

この基金は、市内の小・中学校における子どもたちの国際理解教育事業を支援していただける多くの方々や事業者からの寄附金を積み立て、活用するために平成20年に創設しました。

「鴻巣市立中学校生徒海外派遣事業」は、海外の社会・文化・自然等に触れ、世界に貢献する日本人の育成を目的として、平成5年度から実施しています。本年度は20人の生徒をオーストラリアに派遣し、本基金を財源として活用させていただきました。基金の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いします。

